

2022 年度 世界展開力強化事業 太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム 【短期受入研修プログラム】募集要項

本研修の目的は、琉球大学世界展開力強化事業が推進する、太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーを育成することである。具体的には、異文化理解、SDGs 運用能力、そして個々のリーダーシップ探求を具体的な学修成果として掲げる。研修では、本事業において連携を結ぶ、太平洋島嶼地域の大学に在学する学部学生を沖縄に受け入れ、歴史、文化、環境など広い観点から、太平洋島嶼地域に共通する地域課題について学ぶ。また最終課題発表として、SDGs (Sustainable Development Goals)に関連するテーマを学生自らが選び、文献学習や講義、沖縄でのフィールド活動を通して、広く沖縄について学ぶ場を提供する。

並行して、本学に在学する学生（留学生を含む）も履修学生としてプログラムに参加し、外国人学生との国際共修を行うことにより、所定の単位を付与する。

プログラムの事前研修として、COIL (Collaborative Online International Learning) 型授業を活用する。受入外国人と本学参加学生の間でオンライン交流機会を設け、事前学習課題に取り組むことにより、SDGs に関する探求テーマの設定や、太平洋島嶼地域に関連する共通課題についての協働学習の機会を提供する。また、事前事後に行われる参加学生の内的成長を測定する BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory) アセスメントや事後アンケート調査を参加学生に受けてもらい、研修プログラムの学修効果やプログラムの有用性を客観的に評価する。

現時点での日本国政府による水際対策に係る入国制限緩和状況を踏まえ、本プログラムは対面で実施する予定である。

1 プログラム実施期間(案)

2023 年 3 月 11 日（土）～3 月 19 日（日）(9 日間)

(事前・事後研修含まず。研修オリエンテーション、修了式は含む)

2 対象者

外国人学生（海外連携大学）、本学に在学する学生

プログラム実施時に、所属大学に在学している（休学等をしていない）正規学部学生1～4年次および短期大学生 1～2 年次。

受入募集対象の大学

以下の世界展開力強化事業対象の連携大学：

ハワイ大学 9 校（マノア校、マウイ校、カウアイ校、ヒロ校、カピオラニコミュニティカレッジ、ハワイコミュニティカレッジ、ホノルルコミュニティカレッジ、リーワードコミ

ユニティカレッジ、ウィンドワードコミュニティカレッジ)、グアム大学、パラオ地域短期大学、ミクロネシア連邦短期大学、マーシャル諸島短期大学

琉球大学に在学する学生

琉球大学に在学する正規学部学生・大学院生（在学する正規留学生を含む）

※大学院生の参加の場合、担当指導教員の許可が必要とする。

3 参加人数

プログラムからの経済支援を得る海外連携大学受入学生 4～7 名程度とする。上記連携校からの自費での参加はこの限りではない。

4 科目及び単位付与

本プログラムの全授業に参加した学部学生には、「総合特別講義Ⅰ」（太平洋島嶼地域SDGs研修）・2単位を付与する。海外・国内連携校受入学生の琉球大学における在籍身分は特別聴講学生とする。

5 応募要件

以下（１）～（６）のすべての条件を満たす者。

- （１）（外国人学生（海外連携大学）琉球大学の世界展開力強化事業における海外連携大学に在学する正規の学部学生・大学院生と留学生
（本学に在学する学生）本学に在学する正規大学生・大学院生と留学生
- （２）事前・事後学習を含め、全てのプログラムに参加できる者。
※ただし、体調不良など相応の理由があり届出欠席した場合で、教員からの指示がある場合は、適宜補習のレポートを提出すること。
- （３）沖縄や太平洋島嶼地域について学ぶことに興味・関心があり、積極的に交流する意欲があり、コミュニケーションを図れる者。語学力は問わない。
- （４）受入プログラム終了後、在籍大学等での学業を継続し、学位を取得する、または卒業を予定している者。
※１ 休学中の者、退学・除籍の予定がある者は、要件を満たさない。
※２ プログラム途中で正規の課程を卒業・修了する者は、要件を満たさない。例えばプログラム途中で学士課程を卒業し、引き続き大学院に入学する者も要件を満たさない。
※３ 2023 年 3 月に学士課程を修了する本学学生・大学院生、また 2023 年 5 月に卒業する海外受入学生、2023 年 3 月に卒業する本学に在学する学生・大学院生はプログラム参加可能とする。
- （５）プログラム終了後、何らかの形で琉球大学の世界展開力強化事業における取り組みについて学内外で紹介することや参加協力要請に対し、積極的に貢献する意思のある者。
＊ 以前「総合特別講義Ⅰ」を履修し、単位取得した学生が本プログラムに参加を希望する場合は、要相談。
- （６）本学に在学する学生のみ、プログラム終了後、GTEC テストを受検すること。

6 プログラム概要

(1) テーマ

“Engaging with a Sustainable Island Future - Nurturing Global Leadership for Sustainability of the Pacific Island Region”

(2) カリキュラム構成

事前事後研修、及び8日間の期間で合計15コマ（計30時間相当）を講義や協働学習（参加学生の交流、最終成果報告に向けた協働学習）を通して実施する。

※プログラム詳細は、P.4の「プログラム予定表」を参照。

(3) 使用言語

主用言語は英語とする。

(4) プログラム内容

沖縄本島で対面により実施する（事前・事後研修に関してはオンラインでの実施を予定）。

<事前研修>

COIL型手法を用いた事前研修計2回の全日程に参加し、課題を期限までに提出する。

(1) 第1回事前研修 COIL

- ・BEVI アセスメント#1 受検
- ・オンラインプラットフォーム（Flip）にて自己紹介ビデオ投稿（2分程度）
- ・アイスブレイキング（オンラインクイズ、ゲームを通して参加学生間の交流を促す）
- ・ビデオ鑑賞（“What are the 17 SDGs?”）および第2回事前研修 COIL の進行に関する説明

(2) 第2回事前研修 COIL

- ・関心のあるSDGsを1つ以上選び、自ら調査した結果をパワーポイント資料3～5枚程度にまとめて発表する。発表後、質疑応答およびディスカッションを行う。
発表内容には以下を含める：
 - (1) なぜそれらのターゲットが重要だと思うか
 - (2) 選んだSDGsに関する出身地域での課題を調べ、その課題が地域や人々にどのような影響を及ぼしているのか
 - (3) 実際に課題解決のために取り組んでいる事例の紹介

<本研修>

課題は各講義の後の1週間以内に提出すること。

最終課題ではグループでプレゼンテーションを行う。発表のテーマは、「沖縄及び太平洋地域のSDGsの比較」とする。

<事後研修>

- ##### (1) BEVI アセスメント#2 受験、プログラムの事後アンケート

- (2) プログラム終了直後、1週間以内に参加者全員プログラムに関するレポート（A4 1枚程度、様式自由）を提出すること。
- (3) 参加者全員、プログラム終了後、約2ヶ月以内に BEVI#3 アセスメントを受検すること（時期については改めてこちらから案内する）。

プログラム予定表（※講義内容については調整中）

日程（日本時間）	内容
2月18日（土）	第1回事前研修(90分) オリエンテーション アイスブレイキング SDGs ビデオ鑑賞 BEVI アセスメント#1 （自己紹介ビデオを期日までに Flip にアップロードする）
2月25日（土）	第2回事前研修(90分) 作成資 PPT（SDGs 関連）の個人発表、Q&A、ディスカッション （90分）
3月11日（土）	海外連携校の学生参加者と集合
3月12日（日）	オリエンテーション、BEVI#1 結果説明（30分） チームビルディング（60分）
3月13日（月）	＜講義 1＞島嶼地域のサステナブルな食の未来を目指して― 農水一体型陸上養殖プロジェクト」（琉大研究推進機構 羽賀史浩）（90分） フィールド研修（中城村養殖技術研究センター (NAICe) 見学（120分）
3月14日（火）	OIST 訪問 09:00～17:00（8時間） 産学官連携による再生型ツーリズム 高林美咲研究科長 恩納村漁業協同組合サンゴ移植体験
3月15日（水）	＜講義 2＞沖縄、ハワイ、グアムにおける赤土流出問題―環境保護とその課題（カウアイ CC、グアム大学、琉球大学合同実施）（90分） ＜講義 3＞SDGs、ハルトプライズおよび学生のリーダーシップ形成について（石川先生および琉球大学卒業生2名）（90分） エコキャン プロロギング兼キャンパス案内（120分）
3月16日（木） 合宿（読谷村）	最終課題発表に向けたグループ協働学習 午後：文化交流・ホームステイ体験及び親睦会
3月17日（金）	午前中グループ協働学習 午後：読谷村ツアー

3 月 18 日（土）	最終課題グループ発表、修了式 (120 分)
3 月 19 日（日）	（事後研修） BEVI アセスメント#2 受検 事後アンケート (60 分) (30 分)

*最終レポートをプログラム終了後 1 週間以内に提出すること。

*BEVI アセスメント#3（2 ヶ月以内）を受ける（60 分）

7 評価方法

SDGs の課題特定および事前研修で課された課題活動	20%
各講義の内容について課された課題およびグループワークの協働学習活動	30%
SDGs 課題解決についてのグループ最終発表	40%
最終課題レポート及び BEVI アセスメント（#1, 2）	10%
合計	100%

8 プログラム全体の参加費用

本事業は、以下の経費支援を行います。

- （1）沖縄本島でのフィールド活動に関わる費用の一部（バス移動費用等）
- （2）【海外連携校参加者のみ】往復航空運賃（出発地空港～那覇空港）および沖縄研修地での宿泊費の一部

以下の諸費用は個人負担となります。

- （1）【海外連携校参加者のみ】パスポート申請代金および日本入国ビザなどに関わる費用
- （2）【海外連携校参加者のみ】海外旅行保険および研修中に必要となった医療費
- （3）【海外連携校参加者のみ】出発地から出発空港までの交通費および那覇空港から本学までの交通費と経由地での宿泊費
- （4）食費（1 日あたりの予算約 2,000 円 x 8 日=16,000 円程度）
- （5）【海外連携校参加者のみ】飛行機遅延や荷物超過で発生した費用
- （6）私的な買物やプログラム以外での観光費用（フィールド研修での個人的な費用含む）
- （7）事前事後研修の課題作成および提出に関わるインターネット代金およびコンピュータ関連費用
- （8）自己都合によるプログラム参加見合わせによるキャンセル料金（本プログラムより経済支援を得る学生の場合）

9 応募方法

応募者は提出期限までに以下の書類を、世界展開力強化事業事務局へ直接メール添付で提出すること（郵送不要）。

（１）提出書類

- ① プログラム応募申込書（英語で記入）
- ② 直近の成績表（教務システムからダウンロード可）

※応募に必要な全ての様式は下記ウェブページからダウンロードしてください。

Web page: <https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/news/>

（２）提出期限

2022 年 11 月 30 日（水）（日本時間 17:00 まで）

（３）提出先

琉球大学グローバル教育支援機構開発室（担当：世界展開力強化事業事務局
セリーナ・久手堅）

Email: r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp

※件名を「世界展開力 太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム 所属大学名
名前」で提出すること。

9 プログラムについての問合せ先

琉球大学グローバル教育支援機構 開発室 （担当：世界展開力強化事業 事務局）
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地 共通教育棟 1 号館 グローバル教
育支援機構開発室(教育支援課内)

TEL: 098-895-8092

Email: r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp

Web page: <https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/>